



かんとく そつぎょうしき 感動の卒業式! ... 73名が巣立つ!



がっ か もく だい かいそつぎょうしょうしよじゆよしき
3月7日(木)は第77回卒業証書授与式でした。

ほんこう す ねんかん さまざま おも むね すだ
本校で過ごした3年間の様々な思いを胸に巣立っ
ていきました。コロナ禍の中、臨時休校やオンライ
ン学習、学校行事の縮小など、誰もが経験してい
ない生活から、コロナ前の生活を少しずつ取り戻そう
とした日々でした。

なか なかま かつどう とりくみ かんしゃ
その中で仲間とのいろいろな活動や取組に感謝し、
ともに励ましあい、喜びを分かち合ってきた3年間

わたし くすちゅう ねんかん たいせつ おも
でした。私も楠中でのこの3年間を大切にしたいと思います。

さいこうせいだいひょう そうじ の たかとも せんぱい かんしゃ きも ひょうげん やくめ
在校生代表で送辞を述べた高臣さんは、先輩への感謝の気持ちをしっかりと表現し、役目を
果たしてくれました。高臣さんのこみあげる涙に卒業生も涙する子がたくさんいました。

まよこ み しば こうけい ほんとう かんどう
真横から見ていてとても素晴らしい光景でした。本当に感動しました。

こころ そうじ そつぎょうせい みな 心のもった送辞。。。卒業生の皆さんへ



～前略～先輩方と一番多く関わるのができた部活動。入部した頃、部活になじめ
るか不安だった時に、私たちを笑顔で迎えてくださり、とても安心したことを覚えて
います。練習の内容や、部活内のルール、技術面のことなどを、いつも優しく丁寧に
教えてくださいました。

私は、周りの仲間がどんどん上手くなって、取り残されてしまったと自信をなく
し、部活に行きたくないと思ったことがあります。そんな時、毎日早くから練習に來
て、努力している先輩の姿を見ました。私の努力はまだまだ足りなかったのだと反省
し、先輩の背中を追いかけてきました。しかし、先輩方が卒業されてから、追いかける目標がなく
なり、とても不安になりました。改めて、最上級生の大変さと先輩方の偉大さを感じました。いつ
も周りを見て、冷静に判断することのできる先輩方にあこがれや尊敬の気持ちを持ち、私もそう
なりたいと思うようになりました。先輩方と過ごした部活動の時間は、大切な思い出で、本当に感謝
の気持ちでいっぱいです。(中略)

そんな先輩方と、当たり前のように顔を合わせられるのも今日が最後です。正直、ずっと楠中
学校で一緒に過ごしていたいです。いつも私たちを引っ張ってくれた先輩方が卒業してしまうのは、
不安です。しかし、私は二年間、先輩方と大切な思い出をたくさん作ることができました。道に迷
ったときには、そんな思い出を思い出して、頑張ります。先輩方が守られてきた伝統を、次は私
たちが全員で協力して引き継いでいきます。

卒業生代表の北村さんの答辞は、しっかりと3年間を振り返り、多くの人への感謝の気持ちを伝えました。とても立派な姿でした。北村さんが涙をこらえて、頑張っている姿に、私も必死に涙をこらえて聴かせてもらいました。

そして、3年間の思い出と感謝の気持ちを歌声に乗せて、会場の皆さんに聴いてもらいたいと、会場入りする前にも練習してくれました。式場内に響かせてくれた卒業生最後の合唱は、本当に素晴らしかったです。素敵な合唱をありがとう。そして、素敵な卒業式をありがとう！

楠中学校を巣立つ卒業生の皆さんの健康とご活躍を祈っています。



・・・胸を打つ答辞

(前略)

在校生のみなさん。私たちを慕って、頼ってくれてありがとうございました。私たちは、先輩として皆さんの見本になれましたか。入学から卒業までの三年間はほんの一瞬です。仲間と過ごせる今を大切に、残りの中学校生活が充実した日々となることを願っています。

そして、これからの楠中学校をよろしく願います。

(中略)

家族のみんな。いつも心配をかけたり、迷惑をかけたりしてごめんなさい。素直になれず、冷たい態度をとってしまうこともありましたが、それでも突き放さず、最後まで話を聞こうとしてくれました。また、私が落ち込んでいる時、たくさん励ましの言葉をくれました。どんな時でも私のことを第一に考え、ここまで育ててきてくれて本当にありがとう。まだまだお世話になるとは思いますが、たくましく成長していく私の姿を一番近くで見守ってくれたら嬉しいです。これからもよろしく願います。

3年生のみんな。たくさんくだらないことではしゃぎましたね。それがとてもたのしかったです。喧嘩をして気まずくなることもありましたが、苦しくなることもありましたが、でも、一緒に泣いたり、笑ったりしたことは、今となってはそのすべてがかけがえのない大切な宝物です。みんなが同じ制服を着て、この校舎で過ごすことは今日で最後だと思うと、本当に寂しい気持ちでいっぱいです。けれど、これから先ずっと私たちの絆がなくなってしまうことはありません。楠中で過ごした日々を忘れずに、それぞれが自分の輝く未来を切り開いていきましょう。

これまで、本当にありがとう。

私たちは、日々の生活を大切に、仲間とさまざまなことを乗り越え、ここまで来ることができました。私たちのこれからの未来には、行く手を阻む困難な壁が立ちはだかることもあるでしょう。それでも、これまで楠中で学んできたこと、あたりまえを積み重ねていくことが、未来を切り拓く礎になることを信じて、それぞれの長い人生という道を一歩ずつ・・・

見える景色は違って、遠い場所に行ってしまうと、みんな同じ空をきつと見上げているはず。それぞれの新しい世界で輝くことをここに誓って歩みつづけよう。

最後になりましたが、楠中学校のますますの発展をお祈りして、答辞といたします。

令和6年3月7日

卒業生代表

北村 莉音